

# 「地球人」を育む

Yui Kimiya

Onishi Takuya



地球規模で考え、行動できる人材の育成を目指す「地球人講座」。今年度はJAXA宇宙飛行士の大西卓哉さんと油井亀美也さんをお招きして、熊本とホノルルで開催しました。

## 地球規模の視野

「地球人育成プログラム」それは地球規模でものごとを考えた行動できる青少年の育成を目的として、公益財団法人JAL財団とJALが取り組んでいる活動です。その一環として2003年から「地球人講座」を開催し、第一線で活躍する宇宙飛行士や研究者の方々に、国内外の各地で講演いただいています。国境を超えた仲間とともに働くスペシャリストたち。そんな彼らの言葉を広く伝えることが、次なる地球人を育てていく

と考えるからです。  
あきらめないこと  
懸命に努力すること

2019年度の「地球人講座」は、今年はじめに熊本とホノルルで開催しました。熊本で講演された宇宙飛行士の大西さんと、ホノルルで講演された油井さんは、国際宇宙ステーション（ISS）に100日以上滞在された経験をお持ちです。宇宙飛行士の夢をかなえたお二人が語るISSでの日々は、数百人の小中学生と保護者の皆さまを、広い宇宙へと誘いました。



ホノルルのイオラニスクールで講演した油井さん。



今年1月に熊本城ホールで行われた「地球人講座」で、質問に答える大西さん。

貴重な映像や写真とともに紹介される宇宙での食事・運動・仕事。それらは地上の「当たり前」とはかけ離れています。熊本の講演では、地球と宇宙の生活の違いに関する質問が多く飛び交いました。「宇宙ではどうやって寝ているんですか？」という子どもたちの質問に、「電話ボックスくらいの箱の中に寝袋があります。『立つ』『寝る』という感覚が宇宙にはないんだよ」と大西さん。会場からは驚きの声が上がります。国や文化についての話で盛り上がったホノルル講演では、油井さんが「宇宙から地球の国境が見える場所があります」と教えてくれました。街の灯りがくつきりと浮かび上がり、その光の線を境に、暮らしの違いがひと目でわかるのだといえます。さまざまな国や地域の人たちが協力して仕事と生活を営むISS。限られた空間の中でも油井さん

は「お互いの文化や歴史を尊重し合えれば、仲よく暮らし、ともに質の高い仕事をすることができると、学ぶことが大切です」と語りかけました。

講演の最後には、「今やらないといけないことを一生懸命やるのが大切。頑張ることに、ムダは一つもないよ」と大西さん。油井さんからは「チャレンジすることは怖いことだけれど、懸命に努力して辿り着いた先には楽しいことが待っています」と、学ぶことの大切さを語ってくださいました。

宇宙という未知の世界に触れた子どもたちが、明日の地球人として活躍してくれるよう、JAL財団とJALは今後も次世代育成に取り組んでいきます。

### 第28回

#### 地球人講座のご案内

今年度も宇宙飛行士の方をお招きして、「地球人講座」を開催します。日時や場所等の詳細は、JAL財団Webサイトをご確認ください。ご応募はメールにて受付予定です。

[www.jal-foundation.or.jp](http://www.jal-foundation.or.jp)

今回のテーマに当てはまる目標



2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的な社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。

